

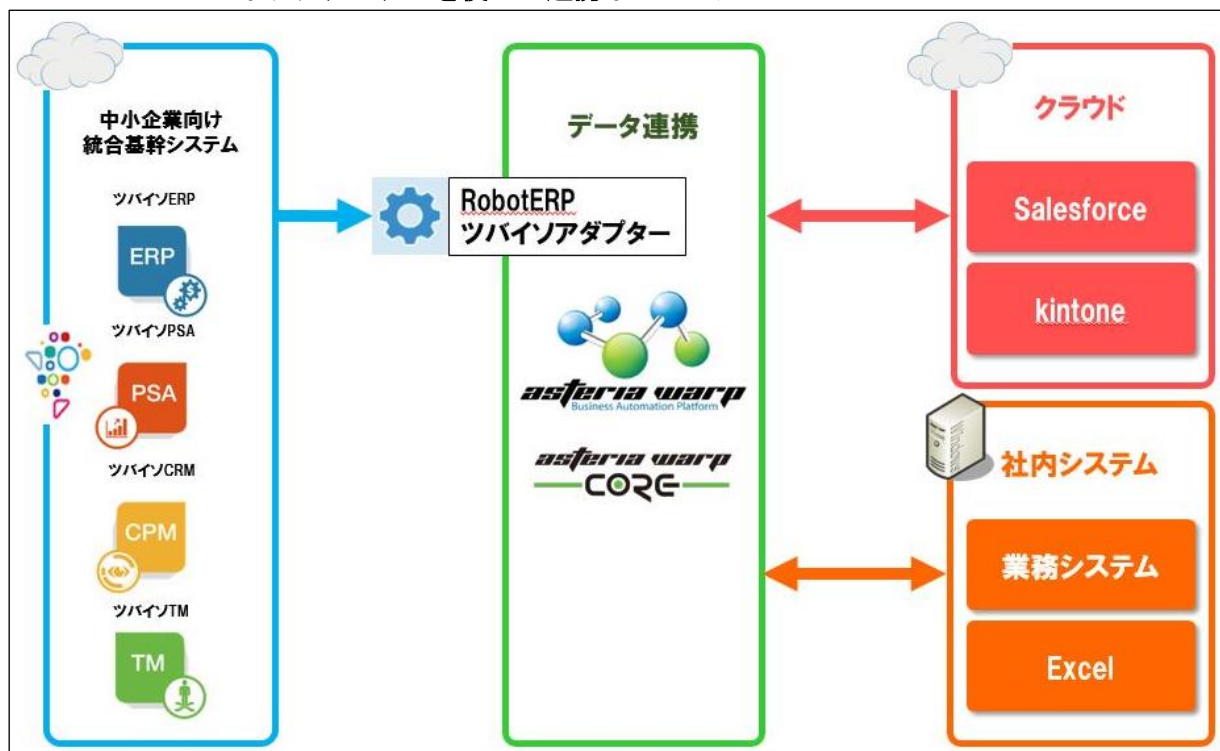
クラウド型 ERP の RobotERP ツバインと ASTERIA Warp が連携

～ ASTERIA サブスクリプションパートナー契約を締結し業務システムとシームレスな連携を実現 ～

アステリア株式会社（旧：インフォテリア株式会社、本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）とツバイン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：印具毅雄、以下、ツバイン）は、企業データ連携（EAI/ESB）製品の国内市場において12年連続シェア No.1^{*1}製品である ASTERIA Warp シリーズのサブスクリプション（月額課金）型製品の販売代理店として「ASTERIA サブスクリプションパートナー契約^{*2}」を締結したことを発表します。

またクラウド型 ERP の RobotERP ツバインとの連携機能を担う ASTERIA Warp シリーズの専用アダプター「RobotERP ツバインアダプター」2018年11月15日より提供開始します。

<RobotERP ツバインアダプターを使った連携イメージ>



■アステリアとツバインがパートナー契約を締結した背景

AI・RPAを活用した働き方改革が社会的に期待されている中、独自のAI技術による自律運転でトップマネジメントからスタッフまでの生産性向上を支援する RobotERP ツバインの導入が進んでいます。複数の専用モジュールによって幅広い業務を自動化する RobotERP ツバインは、多くのマスターデータ、トランザクションデータを有することから、他のシステムとの連携や機能拡張のための多数のAPI^{*3}を備えるなど、ユーザーの利便性向上も図っています。しかしAPIによるシステム連携は従来のインテグレーションよりも生産性が高いものの、依然としてプログラミングが必要であるため、エンドユーザー自身の実装には敷居が高いという課題がありました。

そこで、ツバインはエンドユーザー自身による RobotERP ツバインと既存の社内システム等のノン・プログラミングでの連携を可能にするため ASTERIA Warp 専用アダプター「RobotERP ツ

バイソアダプター」を開発し、合わせて ASTERIA Warp Core とセットで提供を開始することを目的にアステリアと ASTERIA サブスクリプションパートナー契約を締結しました。

■ RobotERP ツバイソアダプターについて

機能概要	RobotERP ツバイソが持つマスタ（取引先、取引先担当者、社員、部門、セグメント、固定資産、勘定科目など）、トランザクション（見積、受注、発注、検収、入出金予定、請求、売上、原価、給与、仕訳など）、集計データ（月次／年次貸借対照表・損益計算書、与信残、債権債務残高一覧、取引先別勘定科目別集計、部門別・セグメント貸借対照表・別損益計算書、バージョン別予実分析表、社員別アクティビティ別工数など）との連携を、本アダプターによりノン・プログラミングで実現できます。
価格	1 ライセンス：4 万円～（税別）／月

■今後のビジネス展開

アステリアの ASTERIA Warp ビジネスは順調な拡大を継続しており、現在の導入社数は 7,000 社を突破するとともに、企業データ連携市場（EAI/ESB）では 12 年連続シェア No.1 を継続し、業界のリーディングカンパニーとしての地位を更に強固なものにしています。今後も、ASTERIA Warp の多様なデータソースとの連携機能を駆使することで社内の情報資産の有効活用に貢献し、新たなビジネスチャンスの獲得に貢献できるような IT ソリューションの構築に貢献してまいります。また、今回のアステリアとツバイソとの協業においては、両社の製品が連携することで RobotERP ツバイソの導入機関の大幅な短縮と業務効率化を実現することから、アステリア、ツバイソ共に更なる拡販につなげていく方針です。

【共催セミナーのご案内】

RobotERP ツバイソアダプターの発表と RobotERP ツバイソの新サービス PSA をご紹介するセミナーを開催します。

セミナータイトル	クラウド ERP・PSA × データ連携セミナー ～業務の自動化で、顧客満足度を上げ、コストを下げる～
日 時	2018 年 11 月 16 日（金）15:00～
会 場	アステリア株式会社 1 階セミナールーム
主 催	アステリア株式会社、ツバイソ株式会社
お申込み・詳細	https://event.asteria.com/jp/event/e181116/

■ RobotERP ツバイソについて（Web サイト <https://tsubaiso.jp>）

RobotERP ツバイソは、AI を活用することで自律的運転を行い、トップマネジメントからスタッフまでのアクティビティを支援し、生産性の向上を目指しています。4 種のクラウドサービス、「ツバイソ ERP」、「ツバイソ PSA」、「ツバイソ CPM」、「ツバイソ TM」により、企業経営を「財務」、「顧客・業務プロセス」、「戦略」、「学習と成長」の 4 つの視点で支えるワーク・プラットフォームで、先進的な独自技術が評価されています。RobotERP ツバイソは上場企業をはじめ約 150 社で利用されています。

■「ASTERIA Warp」について（Web サイト <https://www.asteria.com/jp/asteria>）

EAI/ESB 製品の国内市場において 12 年連続シェア No.1 製品である「ASTERIA シリーズ」

は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノン・プログラミングで連携できる ASTERIA WARP を主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。

ASTERIA WARP Core は、ASTERIA WARP の厳選された機能を初期費用 0 円、月額 30,000 円からのサブスクリプション形式で「手軽」にご利用いただけます。様々なシステムやサービスと迅速に連携することで業務自動化やデータ活用を実現します。

■「ツバイソ株式会社」について（Web サイト <https://tsubaiso.jp/company/>）

ツバイソ株式会社は、RobotERP 技術（特許出願中 2018-13697）で自律的運転を実現する RobotERP ツバイソを開発する、テクノロジーベンチャーです。会計、業務、IT に習熟したコンサルタントがお客様毎の課題を、先端テクノロジーを使って、オーダーメイドで解決します。

■「アステリア株式会社」について（Web サイト <https://www.asteria.com/>）

1998 年に国内初の XML 専門ソフトウェア会社として設立されたアステリア株式会社（2018 年 10 月にインフォテリアから社名変更）は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 7,267 社を超える（2018 年 9 月末現在）の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,460 件（2018 年 9 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

※ 1：テクノ・システム・リサーチ社「2018 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」

※ 2：「ASTERIA WARP サブスクリプションパートナー」（略称：ASP）は、小規模システムや特定製品、クラウド型サービスとの連携をターゲットとした ASTERIA シリーズの新ラインアップ「ASTERIA WARP Core」を中心とした月額課金サービスの販売を担うパートナーのこと。

※ 3：API: Application Programming Interface の略。プログラミングをすることで対象となすシステムと連携が可能となる。

<プレスリリース 掲載 URL>

https://www.asteria.com/jp/news/press/2018/11/12_01.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 室：長沼史宏

TEL:03-5718-1297 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: press@asteria.com

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 エンタープライズ本部 営業推進部長：東出 武也

TEL:03-5718-1250 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: pm@asteria.com

ツバイソ株式会社 製品担当：地主晋弥

TEL:03-6276-8888 / FAX: 03-6735-8901 / E-mail: tsubaiso_inquiry@tsubaiso.jp

アステリア、ASTERIA、Handbook はアステリア株式会社の登録商標です。
本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。